

田 尻 町

「地域ぐるみで育む子どもの成長」

～各校園所の連携と、学校・家庭・地域が一体となった
教育コミュニティーづくり～

はじめに

田尻町は、泉佐野市と泉南市に接し、本町の沖合い5kmには関西国際空港が立地していて、その中央部（泉州空港中）は本町に属している、面積約5平方kmの小さな町です。

人口は約8,200人ですが、近年宅地開発も進み、人口は増加の傾向にあります。

町内には、保育所・幼稚園・小学校・中学校が一つずつだけですが（H18年度より幼・保一元化を本格実施）、それを地域の特色とした様々な交流を通じた連携と、地域と一体となった教育コミュニティーづくりに取り組んでいます。



各校園所の交流を通じた連携

毎年、各校園所の交流を通して、子どもたちだけでなく教職員の交流も含めた連携の深まりを目指しています。

また、各校園所間の距離が近いので、事前の打ち合わせが行いやすく、継続した取組となっています。

<各校園所の主な交流>

◇保・幼の交流

・年間を通じ、乳児部・幼児部で交流

◇保・幼・小の交流

・6月：田植え

- ・10月：運動会見学、かけっこ参加、稲刈り
- ・12月：もちつき、もち焼き、ふれあい遊び
- ・1月：お店屋さんごっこ

- ・2月：体験入学、ふれあい遊び、給食交流

◇保・幼・中の交流

- ・6月：職業体験
- ・10月：文化祭見学
- ・11月：合唱コンクール見学

◇小・中の交流

- ・6月：職業体験
- ・10月：文化祭見学
- ・11月：合唱コンクール参加、芋掘り
- ・12月：クリスマス会

これらの交流は、園児・児童・生徒が中心となっているのはもちろんのことですが、地域の方が関わっていただく行事も多く、それが地域ぐるみで子どもを育む教育コミュニティーづくりの土台となっています。

5歳児と小学3年生による田植え



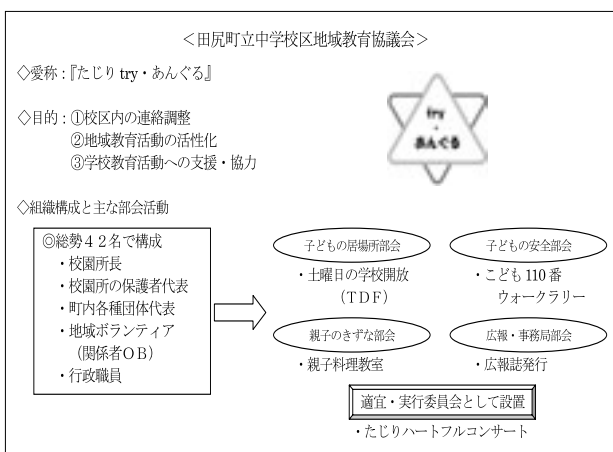
5歳児と小学1年生による体験入学交流



田尻町立中学校区地域教育協議会『たじり t r y ・ あんぐる』の取組

本町では、平成13年度より『たじり t r y ・ あんぐる』（すこやかネット）を設置し、「地域の子どもを地域で育てる」システムを構築するために取組んでいます。

また、地域コーディネーターは、「学校と家庭と地域を結び、顔と名前の一致する地域社会を創造する」ことを目標におき、精力的に推進役を担っています。



土曜日の学校開放



たじり t r y ・ あんぐる と学校支援 地域本部の融合教育に向けて

これまで『たじり t r y ・ あんぐる』の活動は、「14000のアイ運動」や「こども110番ウォークラリー」、土曜日の学校開放である「TDF（たじりドキドキ広場）」といった子どもたちの安全や居場所づくりに、住民や団体がそれぞれできることを持ち寄って取組んできました。本来『たじり t r y ・ あんぐる』の目的は、①学校・家庭・地域の連絡調整②地域教育活動の活性化③学校教育活動への支援・協力の3

こども110番ウォークラリー



親子料理教室



たじりハートフルコンサート



本柱ですが、③の学校教育活動への支援不足という課題が残っていました。

そこで平成20年9月から、文部科学省による「学校支援地域本部」を田尻町立中学校に設置し、学校内を調整し、地域との連携を図るための学校支援コーディネーターを配置しました。これにより、学校教育の中で困ったことや地域の協力が必要な場合など、「学校支援地域本部」から『たじり t r y ・ あんぐる』へ繋がる道ができたわけです。

今後は、学校が支援して欲しいことを地域へお願いするだけでなく、学校としてできることを地域へ提供できる関係、即ち「WIN&WIN」（共に利益を生む）の融合関係を結べるよう、これからも地域の教育力の向上に取組んでいきたいと思ひます。